

9. 第6回経営者交流会開催報告

(2008年10月17日)

経営・業務委員長 綾田隆史

今年の経営者交流会は、昨年度に引き続き、職員の健康課題としての生活習慣病およびメンタルヘルスについて外部講師による講演を開催しました。また、千環協会員を対象に企業活動にかかわる登録許可および社員の資格取得および育成の状況についてアンケートを実施、38社より回答をいただき、その結果を集計して報告いたしました。

講師

財団法人 君津健康センター	山瀧 一 様
---------------	--------

来賓

社団法人 日本環境測定分析協会	岡崎 成美 様
-----------------	---------

参加会員

No.	会 員 名	出 席 者 名
1	(株) 環境管理センター	青木鉄雄
2		吉本 優
3	キッコーマン(株)分析センター	戸邊 光一朗
4	習和産業 (株)	津上 昌平
5	(株) 住化分析センター	村上 高行
6	住鋳テクノリサーチ (株)	佐々木 公司
7	(株) 太平洋コンサルタント	綾田 隆史
8	中外テクノス (株) 環境技術センター	甘崎 恭徳
9		齋藤 健
10	(財) 千葉県薬剤師会検査センター	吉野 俊行
11	東電環境エンジニアリング (株)	武藤 敏夫
12	日鉄環境エンジニアリング (株)	内野 洋之
13	(株) 日曹分析センター 千葉事業所	高嶋 一英
14	日建環境テクノス(株)	丸山 孝彦
15	(株) 日本公害管理センター	松倉 達夫

9-1. 登録許可および社員の資格取得・育成に関する アンケート集計結果報告

経営・業務委員会

アンケートの目的

- ①事業資格の表示範囲を広げることは会社自体の差別化につながり外部へPRする有効な手段となるため、今後の登録許可を検討する上で参考資料となる。
- ②資格取得は社員個人のみならず会社全体のレベルアップにつながる。今後、社員を育成するために、どのような資格が適切か検討する基礎資料とする。

主な内容

- (1)登録許可に関して
- (2)ISO/IEC 17025試験所認定に関して
- (3)社員の資格取得・育成に関して

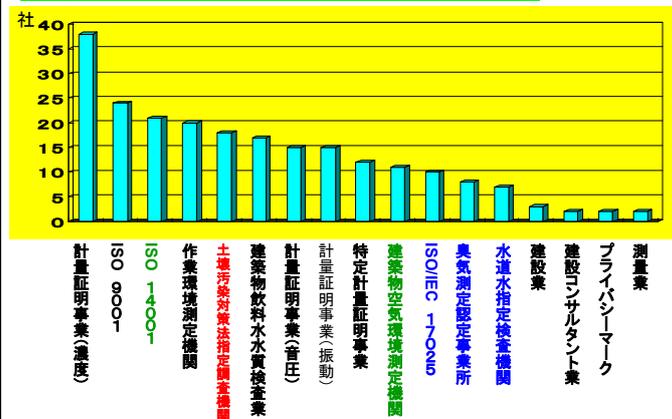
アンケートをお願いした会社数:64社(千環協会員)

募集から回収までの期間 :平成20年7月15日~8月18日

回答していただいた会社数 :38社

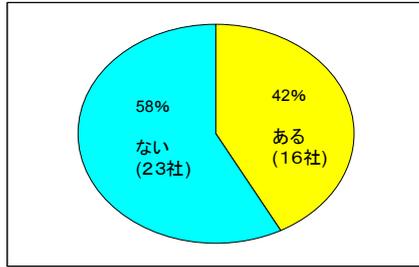
(1)登録許可に関して

①会社としてどのような登録許可を得ていますか



その他(1社):地質調査業、特定建設業、農業GLP、一級建築士事務所
BAM(ブルーエンジェルマーク)、ドイツ環境マーク測定施設としての認定

②今後、取得したい登録はありますか



③あると回答された場合、その登録名称は何ですか

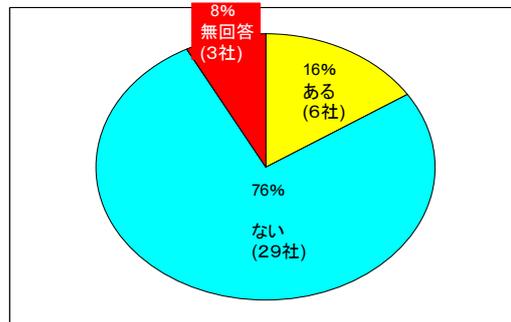
- 5社: ISO/IEC 17025、水道水指定検査機関、臭気測定認定事業所
- 3社: 土壌汚染対策法指定調査機関
- 2社: ISO 14001、建築物空気環境測定機関
- 1社: 建築物飲料水水質検査業、特定計量証明事業、作業環境測定機関
- ISO 9001、食品衛生法に基づく登録検査機関
- 労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS)

④取得したい登録があると回答された場合、その理由は何ですか

単位: 社

	業務進行のため必須	会社のイメージアップにつながる	現状、受注に役立つ	将来、役立ちそうだから	業務範囲の拡大
ISO/IEC 17025	2	3	4	1	—
水道水指定検査機関	4	2	3	2	1
臭気測定認定事業所	2	1	4	1	1
土対法指定調査機関	2	1	2	1	1
ISO 14001	—	2	—	—	—
建築物空気環境測定機関	1	1	1	1	1
建築物飲料水水質検査業	—	—	—	1	1
特定計量証明事業	1	1	1	—	—
作業環境測定機関	1	1	1	—	—
ISO 9001	—	1	—	—	—
食品衛生法に基づく登録検査機関	1	—	—	—	—
OSHMS	(安全衛生のレベルアップ、マネジメントシステムの統合的運営)				

⑤取得したが、有効でない登録はありましたか



⑥あると回答された場合、その登録名称は何ですか

- 2社: ISO 14001
- 1社: 土壌汚染対策法指定調査機関、ISO/IEC 17025
- ISO 9001、特定計量証明事業、無回答

⑦あると回答された場合、その理由は何ですか

単位:社

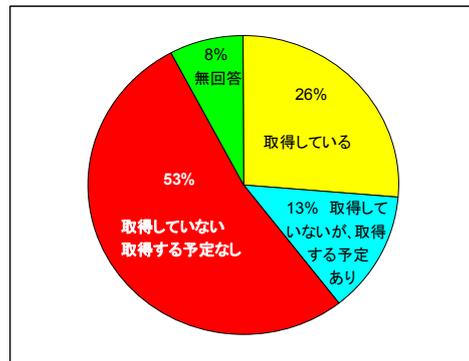
	更新に費用、 手間がかかる	受注に役立つ ていない	計量証明事業(濃度) で十分代替できる	その他
ISO 14001	2	2	—	—
土対法指定 調査機関	—	—	1	—
ISO/IEC 17025	1	1	—	—
ISO 9001	1	1	—	—
特定計量 証明事業	1	—	—	—
無回答	—	—	—	1

(2)ISO/IEC 17025試験所認定に関して

①取得している場合、その分野は何ですか

- ・試験対象分野 — 環境、飲料水
- ・試験技術分野 — ICP(誘導結合高周波プラズマ)
ガスクロマトグラフ質量分析
- ・光触媒材料窒素化合物除去試験
- ・抗菌性試験
- ・材料試験
- ・大気中のダイオキシン類
- ・土壌(環告46号)
- ・環境
- ・骨材試験(2社)
- ・レディミクストコンクリート試験
- ・石灰・セメント・ガラス化学分析試験
- ・コンクリート・セメント等無機系材料強度試験
- ・排水中の金属類の分析・試験 Pb、Cd、Cr⁶⁺、Hg
- ・有害物質の分析(RoHS関連)
- ・鉄鋼分析
- ・ダイオキシン類
- ・水又は土壌中のダイオキシン類
- ・酒類の4金属分析
- ・セメント・混和剤(材)試験
- ・湿式重量・原料・残分・灰分試験
- ・イオン電極分析
- ・コンクリート試験

②取得していない場合、取得する予定はありますか

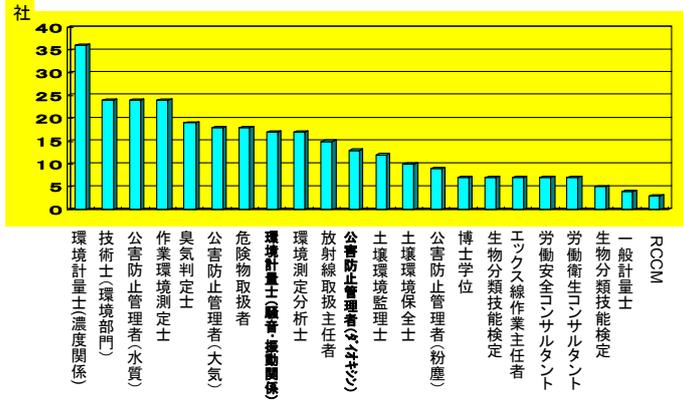


③取得する予定がある場合、それは何ですか

金属類(RoHS / WEEE)、有機物、金属(2社)、検討中(環境分析)、検討中

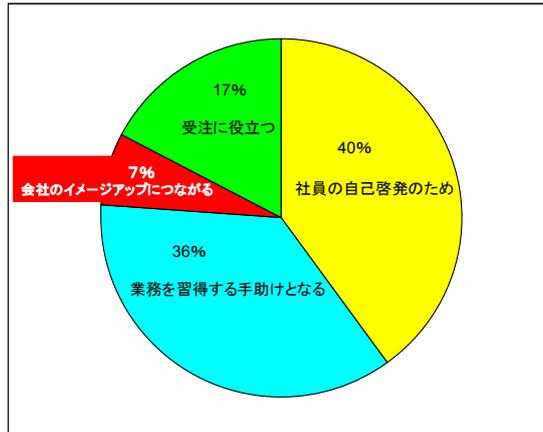
(3)社員の資格取得・育成に関して

①社員に取得して欲しい資格は何ですか

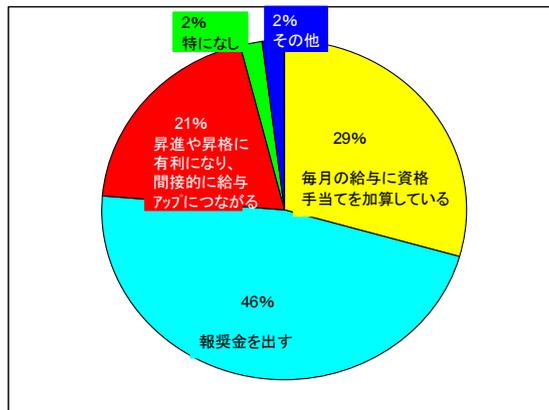


その他(1社): 分析技能士、毒物劇物取扱責任者、土木施工管理技師、測量士、システムアドミニストレータ
 実用英語技能検定、TOEIC、技術士(建設部門)、エネルギー管理士(熱)(電気)、建築物環境衛生技術者

②資格を取得させる理由は何ですか

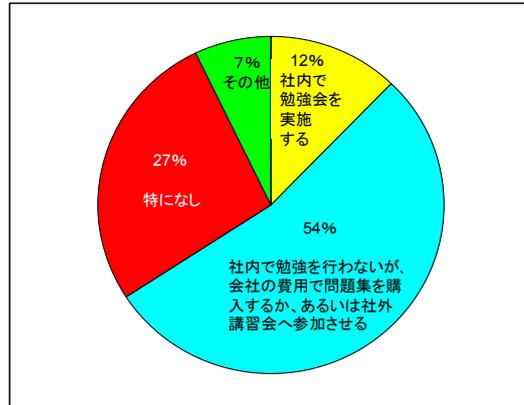


③資格取得の場合、金銭面で優遇していますか



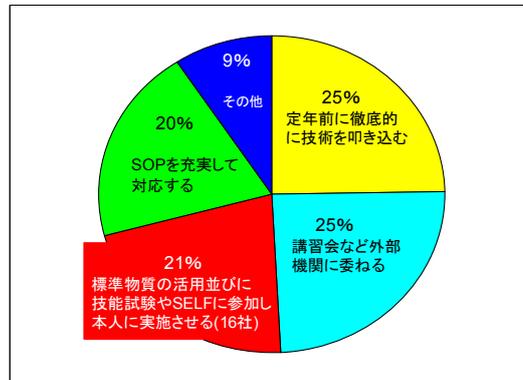
その他: 講習会などへの費用負担

④資格取得のための教育はどのように行っていますか



その他; 勉強しやすい環境の整備、受験費用会社負担、など

⑤ベテラン技術者の定年に伴う若手技術者の育成はどうしていますか



その他; 事業所間の技術交流会、定年前に次期担当者を育成するよう常に配慮している、日常の教育訓練及び引継ぎで技術伝承している、OJT中心、伝承の仕組みはできていない、など